

令和7年度 小麦生育状況 No. 5

岩手県農業研究センター生産基盤研究部 水田利用研究室
(生産基盤研究部：TEL0197-68-4412、FAX0197-71-1081)

I 農業研究センター本部（北上、調査日：5月9日）

1 気象経過

4月第5半旬以降、気温は平年並みに経過した。日照時間はやや少なく経過し、降水量は5月第2半旬に平年を上回った。

2 生育概況

出穂期は、「ナンブコムギ」と「ゆきちから」が5月9日、「ナンブキラリ」が5月12日となり、平年より2日程度遅れた（表1）。

「ゆきちから」・「ナンブコムギ」の生育は、平年と比較して草丈は長く、m²当たり茎数が多かった（表2）。地上部乾物重は、「ゆきちから」が平年を上回り、「ナンブコムギ」は平年を下回った。

ナンブキラリは、前年（R5年播種）と比較すると草丈は短く、茎数も少なかったが、地上部乾物重は前年並みとなった。

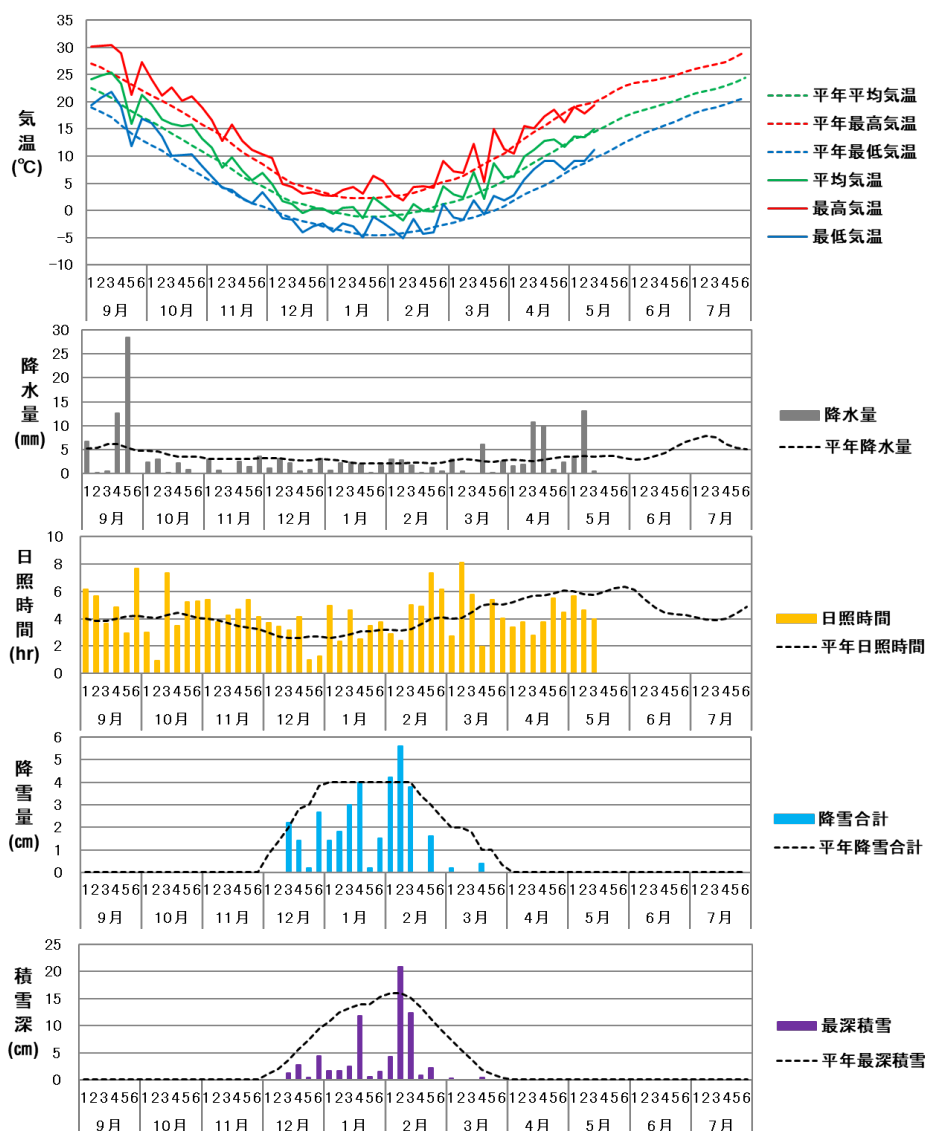


図1 令和6年播種小麦の生育期間中の半旬別気象経過図（北上アメダス）

表1 生育ステージ

品種	播種年次	播種日 (月/日)	出芽期 (月/日)	幼穂形成期 (月/日)	減数分裂期 (月/日)	出穂期 (月/日)
ゆきちから	6年	10/9	10/15	4/4	4/28	5/9
	平年	10/4	10/11	4/3	4/29	5/7
	差・比	5	4	1	-1	2
	(参考)5年	10/4	10/11	4/2	4/24	5/1
ナンプコムギ	6年	10/9	10/15	4/4	4/27	5/9
	平年	10/4	10/11	4/3	4/29	5/7
	差・比	5	4	1	-2	2
	(参考)5年	10/4	10/11	4/2	4/23	4/30
ナンプキラリ	6年	10/9	10/15	4/6	4/29	5/12
	前年	10/4	10/11	4/3	4/24	5/2
	差・比	-	-	-	-	-

※減数分裂期は、止葉の葉耳が抽出(±0 cm)の時期

※平年値は、令和元年～5年播種の5か年平均を用いた

表2 生育状況(令和7年5月9日調査)

品種	播種 年次	草丈 (cm)	茎数 (本/m ²)	地上部乾物重 (g/株)
ゆきちから	6年	78.8	520	7.12
	平年	73.6	427	6.24
	差・比	5.2	122%	114%
ナンプコムギ	6年	84.2	412	6.02 ^{※1}
	平年	80.8	349	8.19
	差・比	3.4	118%	74% ^{※1}
ナンプキラリ	6年	74.2	375	7.86
	前年	83.2	482	7.46
	差・比	-9.0	78%	105%

※ 平年値は、令和元年～5年播種の5か年の平均

※1 片反復で生育不良が生じたため参考値とする

表3 耕種概要

品種	ゆきちから	ナンプコムギ、ナンプキラリ
播種期	令和6年10月9日(標準播種期:10月5日)	
栽培様式	密条播(条間30cm)、転換1年目(前作水稻)	
播種量(kg/10a)	7.0(手播き)	6.0(手播き)
堆肥・緑肥(kg/10a)	牛糞堆肥1,000	
施肥量(kg/10a) 基肥	窒素:6.0 リン酸:8.5 カリ:8.5	
施肥量(kg/10a) 追肥	融雪期:N4.0(3月25日)	融雪期:N2.0(3月25日)
施肥量(kg/10a) 追肥	穂揃期:N2.0(5月14日)	減分期:N2.0(4月30日)

雑草・病虫害防除

雪腐病(種子消毒)	ベフラン液剤25:原液
縞萎縮病(播種前)	フロンサイドSC:600mL※(10月3日)
除草剤(播種後)	リベレーターG:5kg(10月12日)
除草剤(秋)	エコパートフロアブル:100mL※(11月15日)
雪腐病(根雪前)	フロンサイドSC:100mL※(12月2日)

※100Lの水で希釈し10aに散布



ゆきちからの様子（5/9時点）



ナンブコムギの様子（5/9時点）



ナンブキラリの様子（5/9時点）